

県立恩賜箱根公園

ONSHIHAKONE PARK

「皇室ゆかりの地」恩賜箱根公園が
国登録記念物に登録されました！

登録

近代造園文化の発展に寄与した名勝地

当公園のある「塔ヶ島」は、明治時代に新築された「箱根塔ヶ島離宮」の敷地にあたります。関東大震災、北伊豆地震の被災を経て、建築の大半は失われましたが、多くの痕跡が残り、またそれらを生かした公園整備が行われていることから、近代造園文化の発展に寄与した意義深い事例といえます。

離宮からみんなの公園へ

県立恩賜箱根公園の前身は、明治19年（1886年）に造られた箱根離宮（函根塔ヶ島離宮）とその庭園です。大正12年（1923年）の関東大震災、昭和5年（1930年）の北伊豆地震などの影響でその規模が縮小されたのち、昭和20年（1945年）、神奈川県に下賜されました。

下賜の翌年から県立公園として一般に公開され、車道や駐車場、展望広場、園路などが整備されてきました。

現在では、歴史の名残と芦ノ湖、箱根外輪山、富士山などの眺望を楽しめる名勝地として人々に愛される公園になっています。



箱根離宮時代

「国登録記念物」（名勝地関係）とは

国登録記念物とは、文化財保護法によって定められた、保存及び活用のための措置が特に必要とされる記念物のことです。当公園は「造成後50年を経過」し、「造園文化の発展に寄与」しているという条件を満たしたことから、文部科学大臣によって平成25年8月1日に新規登録されました。

県立恩賜箱根公園

① 庭園範囲



前身である箱根離宮当時の敷地及び庭園範囲をそのまま踏襲しており、地形などの改変もなく、その姿を残しています。

② 中央広場



箱根離宮が建てられていた場所。建物は関東・北伊豆の地震で倒壊、現存していませんが、地形は維持されています。当時の建物の位置が示され、離宮を模した展望館も整備されています。

③ 山上門



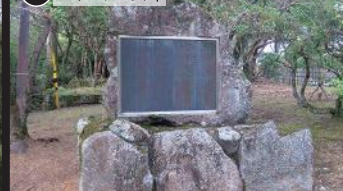
離宮当時あった門の場所です。本体は失われていますが、周辺は跡地としてその姿を残しています。

④ 正面園路



離宮当時からのもので、現在でも中央広場に通じるメインストリートとなっています。

⑤ ベルツの碑



箱根温泉にゆかりのあるベルツ博士を記念した石碑です。離宮をこの地に設けることを博士が進言したと伝えられることから、公園内に箱根町が建てたものです。

⑥ 塔の鼻広場



離宮当時から展望広場として存在していました。公園として開放されてからは、休憩広場として整備され、多くの方に利用されています。

⑦ 馬場跡



離宮当時は、馬場でした。現在は当時の地形を活かし、休憩広場として利用されています。

⑧ 展望台



離宮当時は馬場の附属施設でしたが、現在は展望台として利用されています。

⑨ 二百階段



離宮当時からのものです。現在は、散策路として親しまれています。

⑩ 堀及び石垣



離宮当時、前庭の周囲に整備された堀です。現在はその一部のみが存在しています。現在、前庭は駐車場として利用されています。

公園 Map



恩賜箱根公園のコケ



日本には約1700種ものコケが生育しています。このうち神奈川県内に650種余りあり、恩賜箱根公園には346種が見られます。

園内のコケには、国や神奈川県内の絶滅危惧種に指定されているものや県内では珍しいものなどがいくつか見つかっています。

★写真はマルバハネゴケ

公園・駐車場のご利用について

- 公園 入園：無料
- 湖畔展望館：無料
- 開館：9時～16時30分
- 駐車場：有料
- 7～21時
- (入場は19時まで)

交通のご案内

JR 小田原駅から「箱根町港」または「箱根関所跡」行きバスで約55分「恩賜公園前」下車

お問い合わせ

指定管理者 (公財) 神奈川県公園協会 / (株) ランドフロー
 県立恩賜箱根公園管理事務所
 〒252-0522 足柄下郡箱根町本箱根 171 TEL 0460 - 83 - 7484